

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成17年度～		
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	12 その他事務管理(財産管理)
事務事業名		03	吉永総合支所維持管理事業
根拠法令・規程等		備前市支所及び出張所設置条例	
担当課(室)		吉永総合支所 窓口管理課	
職・氏名		参事 山田邦男	
電話		84-2513	
このシート作成に要した時間		4.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	職員及び来庁者
目的(何のために)	吉永総合支所の適正な維持管理を行う
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	来庁者へのサービス及び職員の職場環境向上を図りながら支所維持管理費の節減に努める。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	庁舎維持管理業務	庁舎設置の維持管理、修繕	
	清掃業務	日常の清掃管理及び庁舎周辺の環境整備(花壇、植木等)	
	補修業務	庁舎建物、設備の修繕	
	共済業務	公用車・建物共済加入等手続き	
	工事業務	庁舎建物、設備等の工事	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		9,621	8,051	7,142	
	必要人員(人件費)	千円	0.29人	2,754	0.36人	2,983
	事業費計		12,375	11,034	9,748	
	国県支出金					
	受益者負担		96	48	48	
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源		12,279	10,986	9,700		
受益者負担比率	%	0.8%	0.4%	0.5%		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	結果指標量	m	1,332	1,332	1,332	
	対前年比	%	-	100.0%	-	
	活動コスト	円	12,375,000	11,034,000	9,748,000	
	単位当たりコスト		9,291	8,284	7,318	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
㎡当たり維持管理コスト	目標値(A)	6,000	5,000	5,000	5,000
	実績値(B)	7,223	6,044	5,362	到達目標値
	達成率(B/A)	120.38%	120.88%	107.24%	5,000
成果指標設定の考え方・式や説明					
通常維持管理コスト(直接事業費)					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E> C
	目的達成度		

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	光熱水費の節減に努め減少している。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
組織として必要な業務であり、概ね良好に実施できているが、経費節減に向けて継続して取り組む。	評価区分 <A~E>	C

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	今後も経費節減に向け継続して取り組む。					